

2025年度保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる内容で記入して下さい。

・ A B C D の4段階評価です。

A	： たいへんよい
B	： よい
C	： 一部検討を要する
D	： 改善を要する

保育所・こども園名 【 与野本町駅前保育所 】

	前年度の 評価	本年度 の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について		
① 会の保育理念を十分に理解し、日々の保育実践に活かしている	B	B
② 園の保育方針、保育目標を理解し、保育を実践している	B	B
評価の根拠 各部屋に掲示し理念や目標を把握、職員間の話し合いを通して園全体で共通理解をもって保育を行っている		
2. 保育について		
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	A	A
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	A	B
③ 評価、資料（諸記録）を集積している	B	B
④ 日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映させている	A	A
⑤ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	A	B
⑥ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	A	A
⑦ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	A	B
⑧ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	A	B
⑨ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	A	B
⑩ 保育についての話し合いをよくしている	A	A
⑪ 保育士自身が楽しんで保育をしている	A	B
⑫ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	B	B
評価の根拠 発達に合わせた指導計画を立て、コミュニケーションを図りながら話し合いを重ね、より良い保育を目指し改善を行っている。		
3. 健康管理について		
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	A	A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	A	A
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	A	A
評価の根拠 看護師にアドバイスをもらいながら子ども達が健康な生活を送れるように努めている。玩具や遊具の消毒などの衛生管理、感染症・SIDS予防に関してはマニュアルに沿って行っている。		
4. 行事について		
① 行事の種類や実施回数は適切である	B	B
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	B	B
評価の根拠 子どもの成長に繋がる活動となっているが、保育士の作業負担が多い事と一定期間に行事が過密している事等を考え再度検討していきたい。		
5. 食育について		
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	A	A
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	A	A
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	A	A
評価の根拠 食育活動は調理との連携を深め、乳児から野菜や旬の食材に触れる機会を多く取り入れるなど積極的に取り組んでいる。クッキング活動を通して自分で作ったものを食べる子ども達の喜びを間近で感じられている。		
6. 運営について		
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	B	B
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	A	B
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	A	B
評価の根拠 職員の意見を大切に反映できるよう会議を進めているが、予定時間通りに終了しない事もあり、適切な会議の進行に努めていく。園長、主任、リーダーの役割分担をより明確化し迅速な対応に努めていく。		

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について		
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている	A	B
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	A	B
③ 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	A	B
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している	A	A
⑤ 室内の衛生やクラス廻りの清掃など、気持ち良い環境に心がけている	A	A
評価の根拠	園全体で年齢や発達段階に応じた保健・安全対策を意識し、避難訓練や交通安全指導を計画的に実施している。年齢に応じた保健指導も行っている。習慣化を目指し子ども達への丁寧な働きかけを今後もしていきたい。また、実際に災害が発生した時を想定し迅速な対応ができるようにと訓練内容を工夫していきたい。	
8. 研修について		
① 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている	A	A
② 研修報告を園内で実施している	A	B
評価の根拠	研修時間を確保し、部内外問わず参加している。研修内容の報告に関しては、報告側も聴講側も業務負担にならないよう方法を考えていく。	
9. 情報管理について		
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	A	A
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	A	A
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	A	B
評価の根拠	個人情報保護法・守秘義務に基づき管理徹底している。書類等に関しては、ノーコンタクトタイムを作り出し作成するよう努めている。	
10. 設備について		
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	A	A
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	A	B
評価の根拠	職員も子ども達も安全に過ごせるよう、園舎内・外の安全点検をチェック表を用いて行っている。不具合がある際は、即対応している。玄関の共有ボードを有効に活用している。	
11. 保護者支援について		
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	A	A
② クラス懇談や個別懇談を行っている	A	A
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている	A	A
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	A	A
評価の根拠	懇談会や面談・保育参加等で日々の保育について理解を深めてもらう機会を設けている。また毎日その日のドキュメンテーションを掲示することで、親子の会話のきっかけにもなっている。	
12. 開かれた園づくりについて		
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している	B	C
② 職員による、育児に係る「子育て相談」は充実している	B	B
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	A	B
④ 中高生の職場体験や実習生の受入体制について、その意義や方針を全職員が理解している	A	B
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている	A	A
評価の根拠	子育て支援センターは現在休止している。市域の方へブログを利用し園の様子を発信している。見学希望者を随時受け入れその際に相談にも応じている。医療機関や専門機関とは必要に応じ連携がとれる体制を整えている。今年度実習生8名ボランティア1名の受け入れを行った。	
13. 情報発信について		
① 保護者に向けて、コドモン、園だより等で情報発信に努めている	A	A
② 地域や小学校等に向けて、行事、子育て支援等の周知に努めている	A	B
評価の根拠	コドモンを活用し、日々の連絡帳をはじめお知らせや保育内容について情報発信を行っている。小学校とは連絡協議会や授業参観等の機会を利用し連携をとっている。また5歳児が小学校へ行く機会を設けている。	
14. 人権擁護について		
① 園児一人ひとりの人格を尊重し、適切な言葉がけや関わりをしている	A	B
② 園児の家庭環境や国籍、性別等の多様性を認識し、差別のない関わりをしている	A	B
③ 園児や保護者のプライバシーに配慮し、適切な対応や関わりをしている	A	B
評価の根拠	園内研修にて一人一人の人格を尊重したより良い保育が進められるよう学ぶ機会を設けた、日々保育士間で話し合えるよう努めている。	
15. 総括		
年間をとおしての振り返りと、子どもの育ちをより豊かなものにするための保育の実現に向けて、今後力を入れて取り組みたい事柄や課題等をご記入ください。		
・前年度の課題に対する自己評価及び前年度よりも改善・充実したと考えられる点		
大規模修繕にて休憩室を設置後、仲間と色々話しながら休憩が取れる環境が定着してきた。コミュニケーションが深まり、些細なことでも気軽に話し合いが出来たり、確認し合えたりと園としてのまとまりができたように感じる。「以前よりも全体の雰囲気明るくなり、子どもも保育士も笑顔が増えたように感じる」と言った評価もあった。また、経験の浅い保育士が多い中、一人ひとりが任された仕事を忠実に遂行し、その努力と一年間の保育経験の積み重ねによる成長が保育園の財産となりつつある。以上のような評価により課題であった働きやすい環境作りが充実してきていると考えられる。		
・課題だと考えられる点や次年度の計画に反映させたい点		
クラスを超え横のつながりを意識した保育士の連携、行事のあり方、重複した書類の整理、コドモン機能の活用等による業務の効率化を目指し改善のための取り組みを業務計画に反映させていきたい。また引き続き働きやすい職場環境の維持への配慮は怠らずにやっていく。		